



担い手通信



JA bank Mic

Topic

今月の話題

コンクリート面の農地扱い 通常国会で法改正

政府・与党

政 府・与党は11月7日、農業用ハウス内の地面などを全面コンクリート張りにした場合も農地扱いにするため、来年の通常国会で関連法を改正する方針を明らかにしました。非農地扱いとなり税負担が増す現状を見直し、地面はコンクリート張りにして、高設棚で養液栽培するといった農家の経営展開を後押しします。今後、新制度の細部を詰めますが、農業以外への利用を確実に防ぐ仕組みとすることが不可欠となります。

11月7日に自民党が開いた農業基本政策検討委員会で、同委員会の宮腰光寛参与が、農地法などの改正案を来年の通常国会に提出する考えを示しました。

現状は、農業用ハウス等を設置し、地面を全面コンクリート張りにする場合は、非農地扱いとなり、固定資産税が大幅に上がる他、相

続税などの納税猶予も適用対象外となります。こうした、土地を農業生産に活用したくても、税負担が増すため踏み出しにくい状況は、農地法が定める「農地の農業上の効率的な利用を確保する」との目的に合致しない面があるとして、見直します。

一方、農地法では、農地を「耕作の目的に供される土

地」と定めます。そのため農水省は今後、コンクリートを簡易に撤去でき、耕作可能な状態に戻せる場合など、農地扱いにする対象の明確化を図ります。畜舎のためにコンクリート張りをする場合は、耕作目的ではないため対象としない方針です。既に農地転用して、コンクリート張りになっている農家らの存在も踏まえ、いつから農地扱いの対象にするのかも詰めます。

地面をコンクリート張りにする、農業目的外の利用も可能になることから、農業委員会がコンクリート施工の前後で、適正に利用されているかどうかを確かめる仕組みも検討します。

数字でみえる 三重県の農と食

三重県内の集落営農数

東海農政局「東海3県の集落営農」によると、集落を単位として生産を共同で取り組む集落営農の数は三重県で304(2017年2月1日現在)。この内、法人の集落営農数は69と全体の22%を占めています。非法人の集落営農数が減少する一方、法人の集落数は前年から7増加するなど増加傾向です。



304

県内の農と食に関する統計データを用い、農業の現状を数字から読み解きます。

JA松阪

ナバナ出荷4月以降も JA松阪なばな部会

JA松阪なばな部会は11月上旬、松阪市の西部営農振興センターで、ナバナの目ぞろえ会を開いた。生産者35人が参加した。10月の長雨や台風21、22号の影響で、圃場(ほじょう)が浸水。根腐れなどの被害があり、例年の同時期に比べて出荷量は半数近くまで落ち込んでいる。今後は回復していく見込み。JAは、2016年度から取り組んできた早生品種に加えて晩生品種の栽培を開始。16年度は3月末まで出荷を行い、生産者の所得増大につなげた。今年度は4月以降も出荷する予定だ。部会は、165戸が約13.5畝で栽培。JAは10月中旬から出荷している。(2017/11/17 ワイド2東海)

JA伊勢

商業高校や市と青ネギ商品検討

JA伊勢は、農業者の所得増大に向けて、多様な販売チャネルの開拓を進めている。現在、産学官連携の一環として、三重県立宇治山田商業高校、伊勢市と連携して、青ネギの規格外品を使った新商品の開発に取り組んでいる。11月中旬には、伊勢神宮外宮北御門広場で開かれた「外宮奉納市」で、学生らが考案した試作品3品の試食会とアンケートを行った。「伊勢うどんパン」「ネギペースト」「ネギポタージュスープ」の3品を来場者に食べてもらい、味についてアンケートを取った。今後は、アンケート結果を基に試作品の改良を行い、商品化に向けて2018年3月末までに取り組む。(2017/11/21 ワイド2東海)

JA鳥羽志摩

12月中に出荷を 干し芋「きんこ」で

JA鳥羽志摩は11月10日、12月上旬から出荷が始まる特産の干し芋「きんこ」の出荷会議を志摩市で開いた。「きんこ」のブランドを守るため、加工時の衛生面や選別の徹底を再度確認した。台風や長雨の影響で、原料となる「隼人いも」の掘り起こし作業に遅れが見られるが、生産管理を徹底し、需要の高い12月中の出荷を目指す。会議には、生産者や県伊勢志摩農業改良普及センター、JAの担当者ら19人が参加した。(2017/11/15 ワイド2東海)

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介する。

香酸かんきつ「新姫」果汁中のノビレチン 圧搾搾汁の圧力が高いほど含有量増加

香

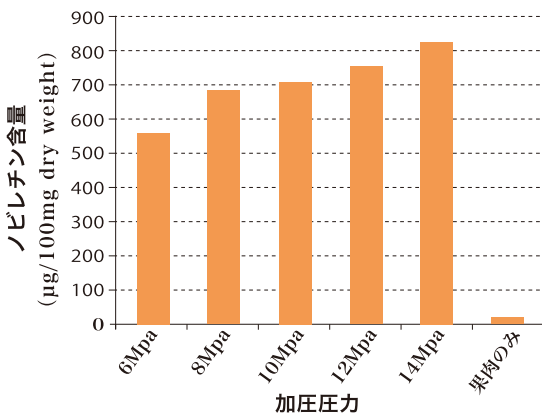
酸かんきつ「新姫」を果汁にするため皮ごと圧搾搾汁する際、圧力が高いほど、機能性成分であるノビレチンが多く含まれることを、三重県農業研究所が明らかにしました。ノビレチンは抗ガン作用や血圧上昇抑制などの効果が報告されている成分で、「新姫」を使った機能性強化果汁製品の開発について期待が高まっています。

実験では、市販の圧搾搾

汁器を使い、「新姫」を皮ごと搾汁しました。設定可能な最大圧力の14メガパスカルで搾汁した場合の果汁中のノビレチンの含有量が最も多く、糖度やクエン酸含有量は変わりませんでした。

また、果肉のみの果汁よりも、皮ごと使った果汁の方がノビレチンの量が多くなり、果汁色は果肉のみの果汁より、赤味が少なくな

加圧圧力の違いが果汁のノビレチン含量に及ぼす影響



お問い合わせ先 紀南果樹研究室 紀南果樹研究課 ☎05979-2-0008

農業を営む すべての方に

今ならJAバンク利子補給制度により、お借入から当初3年間は最大年1%の利子補給が受けられます。

農業経営資金

すべての農業者の実りある未来をサポートします。

- トラクターなど農業用機械の購入資金
●栽培用ハウス・畜舎など農業用施設の建設資金
●その他農業経営に必要な資金

明日の農業を担うみなさまへ JAバンクは地域農業を応援します!

詳しくは、お近くのJA/バンク窓口までお問い合わせください。 http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/



平成29年11月現在

金利情報 平成29年11月20日現在

農業経営資金

変動金利 年1.00%

固定金利 年1.50~2.00%

※上記の借入利率は、代表的な利率であり、JAによって異なる場合があります。適用利率等の詳細はお近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。

スーパーS資金

年1.5% (変動金利)